

令和3年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日時 令和3年8月19日(木)

午前10時00分より

場所 名張市民センター 集会室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

池田 守 (市民公募)
澤田 恭子 (市民公募)
古谷 久人 (地域づくり代表者会議副会長)
喜多村 明美 (名張市老人クラブ連合会女性部副会長)
山根 秀生 (名張市身体障害者互助会事務局長)
勝木 祥文 (名張商工会議所総合商業部会長)
松本 幸正 (名城大学理工学部教授)
中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授)
平岡 祐一 (三重交通株式会社伊賀営業所所長)
深山 桂右 (深山運送有限会社名張エフバス営業所所長)
川瀬 和也 (株式会社メイハン取締役所長)
辻本 敬也 (近畿日本鉄道名張駅駅長)
豊永 育子 (公益社団法人三重県バス協会)
福田 政幸 (三重交通労働組合伊賀支部支部長)
富永 大介 (伊賀建設事務所副所長)
野原 真太郎 (三重県名張警察署交通課長)
伊藤 成美 (代理出席、国土交通省中部運輸局三重運輸支局運輸企画専門官)
濱口 竜一 (代理出席、三重県地域連携部交通政策課係長)
森上 浩伸 (名張市副市長)
宮崎 正秀 (名張市地域環境部部長)
谷本 浩司 (名張市都市整備部部長)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室4名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人: 0名

協議案件: ①役員の選任について

②事業推進部会員の指名について

③規約の改正について

④令和2年度事業報告について

- ⑤令和2年度収支決算について
- ⑥事業進捗管理・評価について
- ⑦令和3年度事業計画（案）について
- ⑧令和3年度収支予算（案）について

- 1. 開会
- 2. 会長あいさつ
- 3. 議事

協議案件①

事務局 本市の公共交通会議には、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく会議と、「道路運送法」に基づく会議の2つの側面があります。この度はそれぞれの会議の役員を選出いたします。まず、活性化再生法に基づく会議としまして、規約第5条第3項により副会長、座長及び監事2名を、委員が互選することになっております。選任の方法につきまして委員の皆様にお諮りいたします。当方からの提案とさせていただきます。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 ありがとうございます。それでは事務局からの提案といたしまして、前回に引き続き、副会長兼座長に松本委員、監事に富永委員と古谷委員を推薦させていただきますが、いかがでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 それでは副会長兼座長を松本委員、監事を富永委員、古谷委員にお願いしたいと思います。

事務局 続きまして、道路運送法に基づく会議の役員については、名張市地域公共交通会議設置要領第5条に基づき、会長、副会長を委員が互選することとなっております。委員の選任について同様に皆さまにお諮りしたいと思います。当方からの提案とさせていただきます。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

ありがとうございます。それでは、事務局提案として、こちら前回に引き続き会長として中平委員、副会長として谷本委員を推薦させていただきますが、いかがでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 ありがとうございます。それでは、会長を中平委員、副会長を谷本委員にお願いしたいと思います。

それでは松本座長様、お席の移動をお願いいたします。

以降の進行につきましては、規約第6条第3項に基づき松本座長をお願いしたいと思います。松本座長から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

松本座長 あいさつ

協議案件②

座 長 協議案件2、役員を選任に関連して、事業推進部会の構成員につきまして、設置要領の第3条に部会の構成員は会長が指名する者及び名張市地域公共交通会議が必要と認めるものとございます。委員の改選もございましたので、改めて会長よりご指名をいただきたいと思えます。

会 長 (指名)

座 長 ありがとうございます。今、会長から資料2のようにご指名がありました。これに対してご意見ご質問はございますか。特にご意見等ありませんので、ご承認いただいたということにさせていただきたいと思えます。

本日の会議の公開についてですが、規約第8条第5項の規定により、次の案件から公開するものとし、公開による方法は傍聴によるものとしますが、本日傍聴はございますか。

事務局 本日傍聴希望者はございません。

座 長 傍聴はないということでしたが、会議自体は公開ということで進めさせていただきたいと思えます。それでは、報告案件3に進んでまいりたいと思えますが、その前にこの会議の位置づけについてお手元に活発で良い議論のできる会議のためというパンフレットがあるかと思えます。これについて支局の伊藤さんの方からご説明をお願いいたします。

(資料について三重運輸支局より説明)

座 長 ありがとうございます。ということで、重要なのは皆さんでこの場で話し合っ決めていくということです。他の会議だと、行政が決めることに対して意見するものがありますが、この会議は皆さんで決めていくという会議になりますので、その辺をご認識いただくとともに、何でも遠慮なくご発言いただいて、今日は時短なので話題から逸れることは避けたいと思えますが、遠慮なく質問なり思っていることをご発言いただければと思えます。よろしくをお願いいたします。それでは、お手元の次第に従い、協議案件3規約の改正について事務局からご説明をお願いします。

協議案件③

(事務局より資料3に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。法律の改正に基づいて名称が変わりましたのでそれに沿ったかたちで規約も改正しているという内容になります。これに対してご意見ご質問はございますか。特にご異論等ないようですので、この案件についてご承認いただいたということでよろしいでしょうか。では、承認をいただいたということで次に進みたいと思えます。協議案件4と関連して5もご説明いただき、その後に質疑応答に移りたいと思えます。令和2年度事業報告について、令和2年度収支決算についてご説明をお願いします。

協議案件④⑤

(事務局より資料4-1, 4-2, 5に基づき説明)

<監査報告>

委 員 名張市地域公共交通会議規約第6条第4項により、令和2年度名張市地域公共交通会議会計について監査をいたしましたところ、その内容は適正なものと認めます。令和3年6月9日 監事富永大介。

座 長 ありがとうございます。昨年度の振り返り、決算についてでございます。これに関してご意見ご質問等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。昨年度は地域公共交通活性化再生法に基づく会議は残念ながら書面決議となりました。道路運送法に関する会議の方は開催いただいております、必要な路線の見直し等が行われました。イベントに関しては残念ながら中止となりましたが、やれる範囲で利用促進を、お手元の新しい地図、名張市全体の公共交通が一目でわかるような地図ができました。こういったものを使いながらどこに何を使って行けるかがわかるようになっていきます。いかがでしょうか。中平先生、事業推進部会長から何か補足はございますか。

委 員 事業推進部会では、ここにあるようにできる範囲内でやっていこうと、皆さんと協議しながら進めています。先ほど会長からあったように、コロナ禍が終わった後もコロナ前の状況に戻るの難しいというところで、そのあたりも今後検討していこうというところです。簡単ですが以上になります。

座 長 やれることは限られていますが、その中で皆さんで知恵を絞りながら、大事なのは安心して安全な公共交通が走っていますということを伝えるとともに、必要な方には安心してご利用いただくということだと思っておりますので、引き続き皆さんで実施いただければと思います。その他よろしいでしょうか。昨年度の事業、決算に関してご承認いただいたということでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。それではご承認いただいたとさせていただきますと思います。続きまして、協議案件6、事業進捗状況と評価について事務局からご説明をお願いします。

協議案件⑥

(事務局より資料6-1-1, 6-1-2, 6-1-3, 6-2に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。多岐にわたる資料のご説明でしたが、まずはA3の星取表のようなものですが、これは皆さんで策定いただいた名張市の交通の計画である網形成計画ですが、その計画に位置付けた取り組みがどのように実施されたか進捗状況の確認をいただいたものです。白いところはまだできていないところになります。ただ、それはほとんどありませんので、かなり予定通り進んでいます。また、利用状況と連携協議会での各路線ごとの評価についてご説明いただきました。何か、ご意見ご質問、また連携協議会からの補足等ございましたらいただければと思います。

会 長 各コミバスの利用者の目的別の整理は何かされていますか。一般的には買い物や通院でしょうけど、その割合はどれくらいですか。

事務局 各コミュニティバスは平日の運行であること、運行時間も通勤通学の時間はあまり運行しておらず、昼間に運行しているということもありますが、過去に実施した乗込み調査の結果から、利用者の多くが高齢者で、その多くは買い物や通院でしたが、詳細な資料が現状ございませんが、多くは高齢者の日常生活において利用いただいている状況です。

座 長 ありがとうございます。一般的には買い物、通院が多いのだらうと思っています。結構利用が多いバスになると自由目的、それから路線によっては通学、通勤など地域特性や運行の仕方などでだいぶ変わってくると思いますが、先ほどの資料6-1-3を見ていただくと、各路線で特に令和2年度はコロナの影響で非常に厳しいというのはお分かりだと思いますが、利用

者のうち運賃免除利用者数を見ていただきますと、それ以外の推移とは違う動きをしていることがわかります。おそらく、この方々は不要不急ではない移動をこのコミュニティバスに頼っている。すなわち、どうしても出かけなければならないような、それをコミュニティバスで何とか実現できている。従って外出自粛があっても減っていないという状況かと思っています。ですから絶対数としてはコミュニティバス各路線で少ないですが、少なくともこれがないと生活できない方々がお見えになるということがわかります。おそらくこういった方々は買い物や通院といった必需の移動に使われている可能性が高いのではないかと思います。一方で自由トリップは今回の外出抑制によってガクッと落ちているということになるかと思えます、ほかの自治体の例だと、通学で使われている路線は以前のように戻ってきているという状況もあります。まさに地域と路線の特性によって変わってきているという状況かと思えます。その他いかがでしょうか。色々実施しておりますが、その評価は甘いでしょうかといったものや、交通事業者さんも取組を行っていただいておりますがその補足等あればいただきたいと思えます。特にございませんか。また、資料6-2で各路線ごとに地域公共交通会議の質問、意見を記載することになっておりますので、一言ずついただければと思いますが、まずはナッキー号でございます。先ほどの資料6-1-3の利用者数の推移と見比べていただくと、ナッキー号は少し右肩上がりだったのですが、令和2年で下がったということでありまして。これに対して自己評価としては、今後も市街地循環バスとしての役割を果たすため、感染拡大防止対策を徹底するとともに、利用促進や利便性の向上に努めていきたい、ということですが、皆さまの方から何かございましたら。では私から1点、今回三重交通のバスを使われているということで、今まではナッキー号だとわかったのですが、今は見分けがつかなくなっているのでしょうか。マグネットシート等を貼ってわかるようにしているのでしょうか。

事務局 行き先表示のところにナッキー号と表示をしていることと、車両側面にマグネットシートでナッキー号と一目してわかるような形で運行していただいております。

座 長 ちなみにそのマグネットシートは大きいですか。皆さんがわかりますか。

事務局 目立つようなものです。

座 長 それはいいですね。行き先方向幕のところは全面カラーLEDでしょうか。

事務局 現在は一色のものです。

座 長 あそこがナッキー号の紫になるといいですね。それは将来の話ですが。その他いかがでしょうか。続きましてあららぎ号です。ここは努力いただいております、絶対数は少ないものの、伸びた路線になります。従って来年度の動向を見据えながら改善を進めていくということで、こういった路線もあるということをご理解いただくといいかなと思っております。多分個々の利用者は必需の移動に使われている。逆にこれがなくなったら途端に生活が困窮に陥るということになるかと思えます。従って、数の大きさだけで要不要というのを判断するのは危険で、どういった方がどういう目的で使われていて、それを行政サービスとしてどのように提供していくかということを考えなければいけないと思えます。いかがでしょうか。よろしいですか。続きましてほっとバス錦です。ここは厳しいですね。ずっと右肩下がりになっていてコロナの影響でガクッと下がっている。ただし、運賃免除者免除利用者数はほぼ横ばい

どころか元年度に比べて増えてきているという難しい判断が迫られる路線かなと思っております。ちなみに運賃免除利用者というのは対象はどのようになっておりますか。

事務局 各コミュニティバスすべて共通ではありますが、障害者手帳などの手帳をお持ちの方については無料をご利用いただくこととなっております。

座 長 それだけですか。子どもたちは違いますか。

事務局 通学で使用する場合は小中学生は無料となっておりますが、通学で利用できる時間帯に運行しているのが路線としては限られております。

座 長 では、ほぼ障害をお持ちの方の利用ということですね。車に乗れないということかと思いますが。大変厳しい先行きを痛感しているということですが、簡単には言えませんが、工夫によって利用が増えているところもありますので、余地があるのならば工夫してもらおうといった必要があるのかと思います。皆さまいかがでしょうか。お気づきの点がございましたらぜひご指摘いただければと思います。よろしいでしょうか。それでは、コモコモ号です。コモコモ号も平成30年、元年度と減り、2年度はコロナでガクッと減っている状況です。連携協議会では、地域の実態に即した見直しになるよう検討をということで、先ほどのほっとバス錦と同じ状況かということかもしれません。いかがでしょうか。よろしいですか。それではみどり号ですが、色々努力いただいていることがわかるかと思います。増減を繰り返しており、減のところはスーパーが一度閉店した再開したということで、上下しており、またコロナの影響で減っているということです。努力いただいているかたちは見えているかと思っております。運賃免除利用者数も増えつつある状況です。いかがでしょうか。よろしいですか。市民の皆さま、近くの路線があれば、お気づきの点がございましたらなんでもご発言いただければと思います。では、はたっこ号です。はたっこ号も努力いただいております。推移をみるとずっと増えていてコロナの影響で減っているので、コロナの影響がなくなれば元に戻ってくるのかなと思いますので、引き続きこのようなことをお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。利用状況と事業の評価についてですが、色々な事業をやっただきながら、こういう結果となっております。地域の公共交通の実態について色々思うこともあるかと思いますが、せつかくですので市民の皆さまにご意見お聞かせいただければよろしいでしょうか。では、順番にお願いいたします。

委 員 私は自家用車も使っておりますので、市内や他地域間の移動は自家用車の方が多いですが、折に触れて公共交通を使うようにしております。先ほどの利用目的で言うと、自由移動に該当すると思います。この場合公共交通を使うか、自家用車を使うかというのは乗りやすいかということと、利用する気になるかということもあるかと思います。そのあたりは利用者の観点から使いやすいコミュニティバスにするには、どのようにすればいいか、どうすれば使う気になれるかということを提言していきたいと思っています。実際かつてナッキー号を利用した時、少し遅れていたのですが、運転手さんが桔梗が丘駅の停留所に着く前に他のコミュニティバス、コモコモ号、みどり号、はたっこ号についての乗り継ぎの利用者がいるかどうかを事前に利用者に聞いておられてそのあたり便利になるように工夫されているなと思いました。

座 長 ありがとうございます。そういった連携もやっただきしているんですね。素晴らしい取

り組みかと思えます。また、どうすれば使う気になるかというのはすごく大事だと思えますが、実際どうしたら使う気になりますか。

委員 利用したいときにそのバスがあるかどうかということと、目的地の近くにバス停があるかどうかだと思えます。

座長 まず目的があってその近くにバスがないといけません。そしてそれをわかりやすく情報提供してあげるといことでしょうか。ありがとうございます。それでは次の方お願いします。

委員 私は今年70歳になり、友達が大体年が近い人で、運転ミスで事故を起こしたりとかがあるので、やはり早めに免許返納されることをおすすめしたいなと思っています。意外と忙しいから車がいると思込んでいましたが、私は数年前から車に乗ってなくて、乗らなければかえって時間があって気持ちにゆとりができますし、新しいことをしようという気にもなれます。あと、すごくわがままなのですが、ナッキー号がもう少し美旗の方にバス停があればと思えます。バス停がないだけでぐるっと美旗を周って桔梗が丘まで出てまた乗り換えてと無駄なことをしているので、路線図を見てもわかりますが、西名張の方はくまなくバスが走っているので、もう少しでいいから桔梗が丘から東の方、桔梗が丘4番町の病院あたりにもう1つバス停があれば最高です。

座長 具体的なお提案ありがとうございます。事務局今の認識できましたか。そういったご意見もあるということで良いご提案だと思えますので今後の見直しの際にご参考いただければと思います。ありがとうございます。もともと車乗られていて今は辞められたのですか。今おっしゃられた気持ちにゆとりができたというのはすごくいいと思いましたが、なかなか皆さん実感できないと思えますが、広報紙などで車をやめて公共交通を利用されている方の生活やお気持ちを皆さんに伝えるようなものがあるといいですね。

事務局 ありがとうございます。これにつきまして、委員のご夫婦にご協力いただき、以前特集としてバスでの移動ということで、車のない生活でどのようにお過ごししているのかを広報の方で密着取材をさせていただいたことがございます。

座長 もうされているんですね。ぜひその広報のコピーを配っていただくといいですね。いい取り組みをしているならぜひ宣伝してください。

事務局 次回またお配りさせていただきたいと思えます。

座長 ぜひそういったかたちで公共交通が使える、そして運転をやめた後でも十分生活にゆとりがあって楽しめるということをお伝えいただければと思います。ありがとうございます。それでは、次の方お願いいたします。

委員 コミュニティバスそのものがだいたい交通空白地域や交通不便地域で、もともとバスが通っていないところをカバーするというかたちになっていますので、今乗る気に、便利にということについて気を付けながら路線、便数、停留所も考えていきたいと思っておりますが、如何せん資源の面で、財源という制限がありますので、その辺と兼ね合わせるとなかなか皆さんに満足いくかたちの運行の実現はなかなか難しいので、すべての路線の方々は苦勞されているという部分があります。これは現実ですが、皆さんからの意見を聞きながら努力していく必要があるかなと思えます。また、コミュニティバスというものは、座長からもありましたが、安心安全な公共路線だということで、公共交通が地域の中に走っているということで

住んでいる皆さんがつながりというものを持てる、取り残されていないんだという気持ちの面でプラスになるという部分はかなりあると思うので、もともとコミュニティバスに対する名張市の方向性というのは空白地と不便地域を運行するというのでこれは市民皆さんの安心安全さをカバーできるものだと思っておりますので、財源の面があり難しいですが、いかに努力するかというので、今後も努力して続けていきたいと思っております。

座長 ありがとうございます。今気が付いたのですが、我々は利用者数や財政補助にどうしても着目してしまっていますが、もちろんそれも重要なことで貴重な税金なので無駄にはできませんが、コミュニティバスが走ることによって地域のつながりができるというのは、その意味合いもあるんだというのはまさにそういうことだと思いました。そういう意味では今回いろんな事業評価をいただいておりますが、利用者の増減に対する利用促進も大事ですが、それに対して地域で取り組んでつながりが生まれているといった評価があってもいいのかもしれないね。そして安心感が生まれているというのも必要かと今改めて思いました。ありがとうございます。では、次の方をお願いします。

委員 私はすずらん台に住んでおり、コミバスは入っていませんが三重交通と自治会主催のバスが入っていますので割と便利に皆さん利用されていると思います。時々車で下の方を走っているとたっこ号などコミバスを時々見かけます。以前百合が丘の方がおっしゃっていたのは、足が悪く杖を突いていた方が乗った時にバスの後ろの方に5, 6人のハイキングか何かに行かれるようすごくはしゃいでおられてちょっと杖を突いて乗っていてもほとんど知らん顔されて不快な思いをしたというのを聞きましたので、用途別にコミバスが利用できれば、難しいことだと思いますが、とにかくそういうふうに料金も安いから普通の公共のバスに乗らないで駅まで遊びに行かれる方もいらっしゃるのではその辺の公平さみたいなものはどうしようもないでしょうか。

座長 ありがとうございます。ハイキングで使われているということは私はそれはそれでいいなと思います。地域のバスですが外から来た方が乗ってくれて多少なり運賃収入が多くなればいいなと思っております。ただそうやって困っている方に手助けだけできないというのは非常に残念ですね。本来は障害をお持ちの方も元気な方もみんなが乗ってみんなが譲り合い助け合う環境ができればいいなと思っております。それがこれから公共交通を利用する環境が名張市の市民の方の間でそういう姿勢が芽生えてくるといいなと思っております。そういう意味では「皆で助け合いましょう」のようなものを掲示というか訴えていく必要があるのかもしれないですね。ありがとうございました。では次の方いかがでしょうか。

委員 身体障害者互助会を代表して参加しています。公共交通というのは我々障害者の方々が恩恵を受けており非常にありがたいと思っております。私自身は車があるので利用したことはありませんが近くの方、会員の方に相談しますとどうしても週に2回は買い物に行かなければならないのでこういうものがあると助かるということで受けております。コロナの影響で利用者が減ってきたということがありましたが、生活するためには必要な公共交通ですので、できるだけ継続させていただきたいと思っております。

座長 ありがとうございます。おっしゃる通りこれで利用者が減ったから必要ないという判断が下ることは絶対に避けてください。もちろんそういったことはないと思いますが、今頑張っ

運行し続けてコロナが落ち着いたころにはまた皆さんにご利用いただく、そういうのを皆さんと共に作り上げていきたいと思っております。ありがとうございます。では、次の方お願いいたします。

委員 商工会議所を代表して参加しています。先ほどもお話で出ていたと思いますが、買い物を中心に動かれる方が非常に多いというのは理解できると思いますが、買い物施設内に乗り入れている路線と乗り入れていないところがあり、はたっこ号は今回オークワ西原店に乗り入れて今後の効果を期待するという話も出ておりましたが、逆にコモコモ号はオークワ前で停まっています。現在商業施設というと駐車場も広く、バスを利用される方は年配であったりお身体が不自由な方が多いと思いますが、重い買い物袋を持って駐車場を越えなおかつ道路を渡るというのは非常に危険でありそれが1つの障害になってくるかと思えます。現状若い方はドアツードアで家の前に車を停めてスーパーの一番入り口に近い駐車場に停めるのをおそらく皆さん選択されると思います。やはりそれが駐車場を越えなおかつ道路を越えるというのは、健常で車を利用する者にとって理解しにくい部分もあると思います。おそらく1人住まいで荷物を持っているとなかなかこれは障害になるかと思えます。今後商業施設が増えてくると、できれば商業施設前、もしくは近辺に乗り入れて停める、拾っていくというのができればまた改善できる部分があるかと考えております。

座長 ありがとうございます。大変重要な素晴らしいご提案をいただいておりますが、今乗り入れなどどのような状況ですか。

事務局 特にコミュニティバスについて、完全に駐車場内に乗り入れている路線が、ほっとバス錦、はたっこ号になります。また、みどり号につきましては駐車場内ではありませんが、隣接するところにバス停を作り、店舗側の協力もいただきそちらの方に出入口も作っていただけたということもあります。

座長 ありがとうございます。車両の大きさ、駐車場のレイアウト等によってすべての乗り入れが叶うわけではないのですが、市も協力していただいて各ルートで乗り入れが可能なところがあれば乗り入れていただく、あるいはもっと近接のところで乗り降りできるようにぜひ調整をお願いします。皆様ありがとうございます。貴重なご意見をいただいたと思っております。事業評価にどのように反映するかはともあれですが、バスをご利用の方々の実態をもうすでに広報でご案内いただいているとのことですが、今後も継続的にご案内いただくとともに、公共交通を利用するときに譲り合う、お互いに気遣いをしましょうといった啓蒙も進めていただければいいなと思っております。名古屋の地下鉄などでは、あるいはJRもあつたかな。目の見えない人などに対して危ないと思ったら声をかけましょうみたいなポスターが貼ってあったりします。ですから、そういうのが当たり前だと思う年代もいるのですが、そうでない年代もいますので、情報発信やこういう姿勢が望まれますといったことはやっていくべきかと思えます。それから利用者数という利用促進も大事なのですが、実はつながりを強化するようなコミュニティバスをきっかけに地域のつながりが強まっていくような活動も重要だと思いますので、何でもかんでも乗ればいいというわけではなく、地域で皆さんで集まってみんなで考えてみんなで取り組むという姿勢が評価できるというのも大事かと思えます。また、利用者数が非常に厳しい状況ですがとにかくまずは続けていくそれは地域の

皆さんに対してもメッセージを送っていく必要もあるかなと思います。皆様その他いかがでしょうか。事務局これでよろしいですか。ありがとうございます。公共交通会議としての意見は事務局の方でまとめていただくとして、この星取表などこのようなかたちでご承認いただいたということにさせていただきます。それでは協議案件7, 8 関連いたしますので、令和3年度公共交通会議事業計画案、収支予算案合わせてご説明お願いいたします。

協議案件⑦⑧

(資料7-1, 7-2, 7-3, 8に基づき事務局より説明)

座 長 ありがとうございます。今年度の予定されている事業、公共交通計画策定に向けた調査も実施しますということでその内容、予算ということになります。ご質問ご意見等いただけましたらと思いますがいかがでしょうか。

委 員 まずアンケート調査ですが、この中でコミュニティバスと、最近では移動支援を行っている地域が増えてきたと思いますが、ここの関連で、コミュニティバスが走っているところで移動支援を行っている地域は限られていると思いますが、移動支援の方が便利だからそっちに移るといった事例があるのか。今後移動支援が増える可能性があると思いますので、そういったところの関連性がアンケートの中で捉えられたらと思います。もう1つ予算書の歳出で事業費411万3千円の中で計画案の検討調査事業となっていますが、これの内訳などもう少し詳しい説明はできないですか。以上2点です。

座 長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

事務局 まず、アンケート調査に関わりご質問をいただきました。まず市民の皆さまを対象としたアンケート調査については現在調査票を発送させていただき、実施をさせていただいています。その中の質問項目においてこれまででしたら公共交通を中心項目としていましたが、今名張市内においては地域が主体となって運行しているコミュニティバスもございますが、地域の生活支援の中で移動支援を実施している地域もありますし、名張市内には病院等が無料送迎サービスをしているところもございます。また、その他福祉的な移動も市内にはありますので、そういった利用状況についても確認するようなかたちで質問項目に加えて現在実施をさせていただいております。それから予算についてのご質問がございました。詳細の内訳を掲載していませんところ、申し訳ございません。詳細の数字を現在持っていませんが、調査事業については、アンケートに係る郵送費、物品等購入費に合わせて計画策定にあたり、コンサルタントに一部事業を委託いたします。それにつきましても、費用としてこちらに含んでおります。詳細の数字については申し訳ございません。

座 長 よろしいでしょうか。1点目、地域による移動支援がかなり行われていること、病院の送迎や福祉サービスもあるというので、一度今回の地域公共交通計画では地域の移動支援すべてを活用しようと、今一度位置づけを明確にしようということだと思いますので、やはり実態ということで明確にしていただければと思います。また、調査等で明らかにしてください。もちろんアンケートもありますし、アンケート以外でも実際にどういう地区でどういう輸送が行われているかというのを市としても調査しておいてください。2点目に関して詳細は分からないということですが、少なくとも計画を策定するにあたってのアンケートの実施、乗降者への調査、バス利用者へのアンケートもあります。さらにその分析に係る費用、現

状の分析の費用もありますね。最後に計画を作り上げていくということで、実際にはすごく細かくあると思いますが、ざっくりとも今はわからないですね。

事務局 今持ってきた資料を見たのですが今それを出した根拠の細かい部分というのが今ありません。もし、必要であればおおまかな報告だけでもまたお示しをさせていただきたいなと思います。

座 長 そうですね。せっかくご質問いただいておりますので、大まかでいいですのでアンケートいくら、分析いくらなど皆さんにお伝えいただけますか。どうもありがとうございました。

会 長 令和3年度の事業計画を今回お示しいただきましたが、この公共交通会議とは別にベンチのまちなばりというプロジェクトを進めております。各地域にもベンチを作ってもらって好きなところに置いてください。ただ、置いたところはどこに置いたかを市役所に教えてください。これはなぜかというベンチマップを作ろうと思っています。単純にベンチマップだけですとそこにベンチがあるのかということだけですので、今ハイキングや散歩コースとベンチマップを一緒にしようと考えています。そういったマップを作って病院や高齢者福祉施設、市民の皆さん全般にお配りできる場所はお配りして、例えば病院ですと、血糖値が上がってきたから歩いた方がいいみたいな健康増進のためにお医者さんも協力いただいとうと思っています。今日の会議を受けてこういったコミバスと地域交通を使って市内を歩こうみたいなイベントもこれからできるのではないかと考えています。ただ、先ほどもあったように高齢者の方が乗った時の配慮などはしっかり啓蒙しながら進めたいと思います。別次元で今進めていますので、うまくこの事業計画とリンクしていけばますます利用者が増えてくれればいいのかと思ってございます。ただ、利用者が思い切り増えてどの車両も満車で運行したとしても黒字にはなりません。特に、県や国土交通省に要望ですが通常の維持費という部分では市や地域が出して運営ができますが、車両の更新が一番ネックになってきます。ナッキー号しかりどうしても三重交通にお願いせざるを得なくなりました。こういうことが日本全国大きな問題でこれから高齢化が進んでくる中で重要になってきますので、そこをどう予算を取っていくのか、もしくは取らないのか取れるとすればどうするのか。例えば今国土強靱化でいろんな施策を組んでいますが、言ってみれば1つの国土強靱化なんですよね。正直私も農林水産省から来ているものですから、こういった国の施策というのは非常に重要なんです。そこをぜひとも持ち帰りいただいて、地域の問題としてお伝えいただけますようお願いしたいと思います。三重県の中でももっと不利な地域を抱えているところもあります。そういったところでどのように運営しているかを我々に情報提供いただいて名張市で使わせていただけるようなものがあればそこもしっかり活用していきたい。我々の頭の中にないようなものが出来ればそれは生かせるかもしれません。ぜひともそういった情報提供をお願いしたいと思います。

座 長 ありがとうございます。ベンチのまちなばりは私も非常にいい取り組みだと思いますし期待したいと思っていますが、一方でバス停もそうですが、ベンチを置きたいのですが、要件や規制があって置けないところが多いです。地域の方々が欲しいから無許可で置いたりというものもあります。そういった規制の緩和も進めていただくといろんなところにベンチが置けるなと考えておりますが、何かそういうこと考えられていますか。

- 事務局 今、ベンチのまちのプロジェクトを進めているうえで、道路部局、都市整備部になりますが、道路管理者の方で当然のことながら道路、歩道上に置くものについては道路占用や道路障害など特に道路占用については許可をするといった制度になっております。それを簡易にできないのかと例えば歩道の幅などある一定危険を及ぼさないところについてはそういったものを簡素化しようと検討をしています。
- 座長 それは素晴らしいですね。ちなみに県道も国道もできそうですか。
- 事務局 今私どもが考えているのは市で管理している市道の部分です。県道、国道についてはまた協議させていただきたいなと思っております。
- 座長 ぜひ国道、県道でも実現していただければ、これは高齢者の方にとってすごく大事だと思います。日本のまち、商店街、デパートなどはベンチが圧倒的に少ないです。デパートは最近増えてきましたが、休む場所が圧倒的に少ない、ですから歩けないんですね。ぜひ名張から、素晴らしいベンチがそこらじゅうにあって規制が緩和されるような、そんなものができればいいと思います。それから車両の更新ですが、これはいろんな補助金があると思いますが、運輸支局からご紹介いただけますか。
- 委員 名張市がすぐ補助対象となってくるか今わかりませんが、幹線に接続しているフィーダー路線として補助を受けた場合、さらに要件として車両購入の補助のメニューもありますし、その他は今すぐは出てこないのですが、確認をさせていただいて、それこそフィーダー補助など補助金の関係につきましては国土交通省等から連絡があり次第全自治体にご連絡させていただいておりますし、今後こちらの方からも本省や部局の方にこういったご要望があるとうことはお伝えさせていただきたいと思っておりますので、また適宜情報共有させていただきます。
- 座長 ぜひお願いいたします。三重県からは何かございますか。
- 委員 先ほどのフィーダー補助と関連しますが、県の場合ですと地域間幹線で使用されるバスは本体の補助がございます。それとは別に視点を変えてバリアフリーという観点でいきますと、バリアフリーに関連する車両への補助は、県と国の補助がございます。そういった視点でも検討できる情報があれば提供させていただきたいと思っております。実際県の方でもバリアフリーの車両補助というのは行っておりますので、そういった部分でお手伝いできることがあればぜひとも情報提供等させていただきたいと思っております。
- 座長 ありがとうございます。バリアフリーの観点もあります。あと私の知っているところで言うと環境省だったかと思いますが、EVバスがこの前募集があったと思います。三重県は募集があったのでしょうか。それから二酸化炭素削減の取組として車両購入というのもあったような気がしますし、自動運転や、福祉的な意味合いで地域の方々の取組に対しての補助もありますので、色々あると思います。ぜひ情報収集いただきながら車両更新を進めていただければと思います。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、今年度コロナの状況ですのでまだどこまでやれるかわからないですが、ぜひやれる範囲で、また制約があるからこそアイデアを色々生んでいただき、また地域の方々や事業推進部会の方とも相談いただきながらより効果的な事業を実施いただければと思います。YouTube いいと思います。岐阜県的美濃加茂市でコロナ中がコロナ前より利用者が伸びているんですが、あそこはすごい色々な取組を行っています。その1つに YouTube を使ってお

り、バスに乗って車窓からこんな景色が見えるなどその他にも色々な宣伝をされています。乗りたくなるような番組が出されています。そんなのも参考いただきながらやっていただければと思います。委員さんどうですか、YouTube 出られますか。

委員 ネット環境ないんです。

座長 委員さんのインタビューなどを YouTube で流していただくと、全国から見てもらえます。大きいのは、全国から見てもらえるので名張ってこんなに素晴らしい取組をされているんだということになりますので、そういったものもご検討いただけたらと思います。それでは、皆さま方、今年度の事業、予算ということで特にご異論ありませんでした。ただし、計画案検討調査事業については大まかな内訳を皆さんにお知らせいただくということでご承認いただいたということよろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、ご承認いただいたとさせていただきます。以上で予定の議題すべて終了となりますが全体を通して皆様から何かございましたら。よろしいでしょうか。ありがとうございます。市民の方々に突然振ったりして申し訳ございませんでしたが、貴重なご意見をいただけたと思います。感謝申し上げます。それでは私の進行を終了といたします。では事務局に進行をお返しいたします。

事務局 それでは、これをもちまして令和3年度第1回名張市地域公共交通会議の協議を終了とさせていただきます。皆さまかなりお忙しい中長時間にわたり参加いただきまして誠にありがとうございました。